

前年度比5億2,378万9千円減

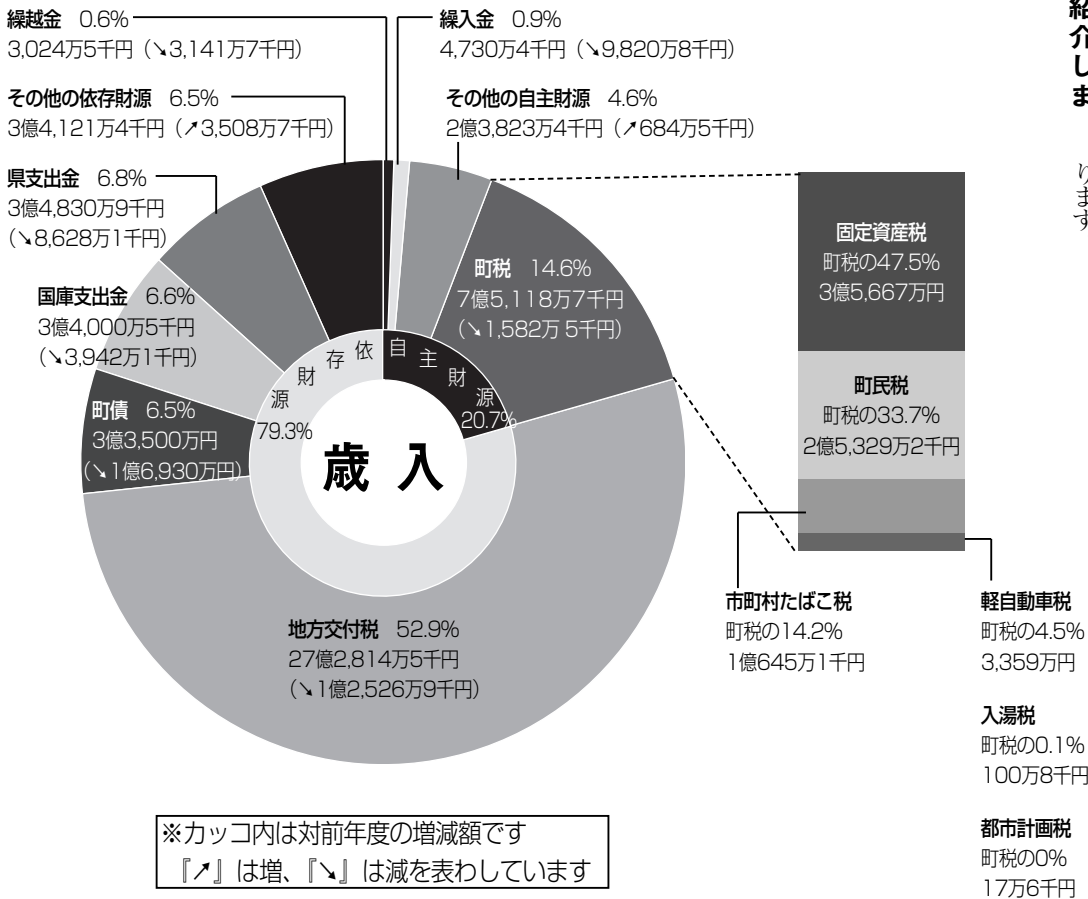
51億5,964万3千円

前年度 56億8,343万2千円

歳入

平成十八年度の一般会計と特別会計が、九月定例会で認定されました。町にどのようなお金が入り、どのように使われたのでしょうか。特別会計については前月号で紹介していますので、ここでは一般会計の決算報告を紹介しま

歳入の総額は、前年度と比べると五億二千三百七十八万九千円(9.2%)減額の五十一億五千九百六十四万三千円となりました。なお、町民の皆さんから納めていただいた税金は、一人当たり四万九千五百八十七円となっております。



※カッコ内は対前年度の増減額です
『↑』は増、『↓』は減を表わしています

町民一人当たりの歳出、町税

※平成19年3月31日現在
(15,149人)で計算

歳出 【目的別】	総務費	民生費	衛生費
	35,037円	95,330円	34,583円
	農林水産業費	土木費	消防費
26,371円	28,582円	24,189円	
教育費	公債費	その他	
29,080円	49,965円	13,514円	
歳出 【性質別】	人件費	扶助費	公債費
	73,200円	47,619円	49,965円
	普通建設事業費	物件費	補助費等
24,055円	36,657円	49,915円	
維持補修費	繰出金	その他	
4,789円	48,581円	1,870円	
歳入	町税	歳出合計	
49,587円		336,651円	

『歳入』用語の解説

- 自主財源** … 町が自主的に収入し得る財源
- 依存財源** … 国、県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
- 町税** … 皆さんから町に直接納めていただく税金
- 繰入金** … 町が自主的に収入し得る財源
- 繰越金** … 前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金
- 地方交付税** … 国から町に交付されるお金。国税のうち所得税や法人税、たばこ税、酒税、消費税が町の財政力に応じて交付
- 国庫支出金** … 国庫補助事業など、特定の目的の事業の財源となる国の補助金など
- 県支出金** … 県補助事業など、特定の目的の事業の財源となる県の補助金など
- 町債** … 事業を行うために町が計画的に借りるお金

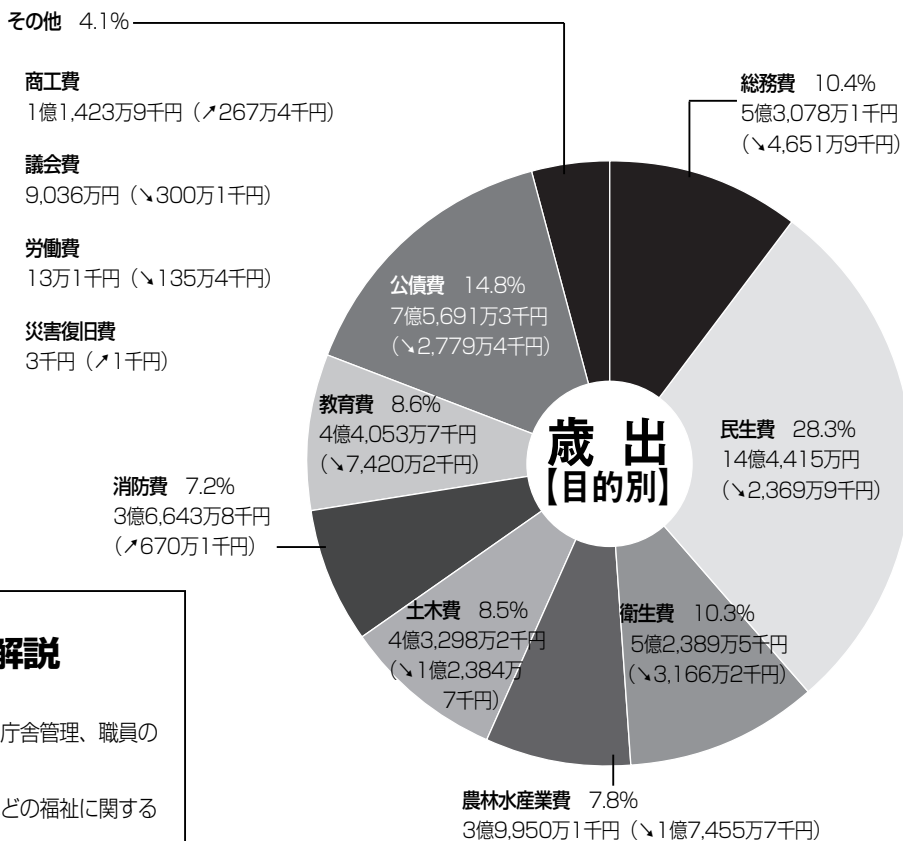
平成18年度決算報告 一般会計

歳出

50億9,993万円

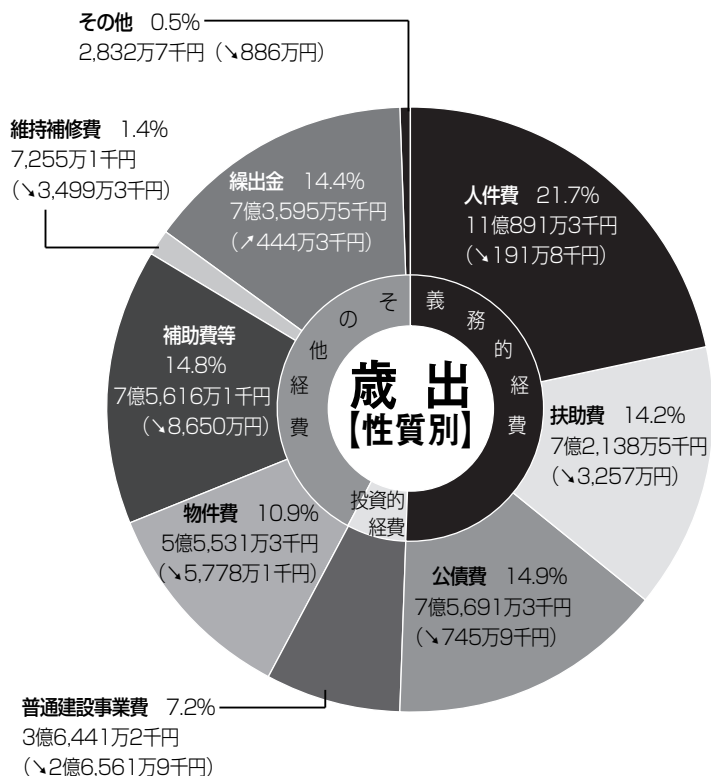
前年度 55億9,118万7千円

歳出の総額は、前年度と比べる
と四億九千二百二十五万七千円
(8.8%)減額の五十億九千九
百九十三万円となりました。
町民の皆さん一人当たりに使わ
れた金額を計算すると、三十三万
六千六百五十一円となります。



『歳出』用語の解説

- 総務費**… 選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理、職員の給与などの経費
- 民生費**… 高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費
- 衛生費**… 各種検診や予防接種、ごみ処理などの経費
- 農林水産業費**… 農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費
- 土木費**… 町道や河川の整備、町営住宅の管理、除排雪などの経費
- 消防費**… 五所川原地区の消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費
- 教育費**… 小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費
- 公債費**… 町の借金である町債を返済するための経費
- 人件費**… 町議会議員などの報酬、職員の給与、地方公務員共済組合負担金などの経費
- 扶助費**… 事情により生活や就労、就学が困難な人たちを支援するための経費
- 普通建設事業費**… 道路や橋、学校、公共施設などの建設に要する投資的な経費
- 物件費**… 賃金や旅費、需用費、委託料など消費的性質の経費
- 補助費等**… 産業や文化の発展のため、また公益上必要と認められた場合に支出される補助金など
- 繰出金**… 一般会計と特別会計、もしくは特別会計相互間で繰り出される支出



財政状況一覧表（平成18年度）

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債 現在高	他会計から の繰入金	備考
一般会計	5,160	5,100	60	60	6,623	5	基金から42百万円繰入
学校給食特別会計	71	71	0	0	—	—	
土地取得特別会計	0	0	0	0	—	—	
普通会計	5,231	5,171	60	60	6,623	5	基金から42百万円繰入

(財産区)

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債 現在高	他会計から の繰入金	備考
第1財産区特別会計	6	2	4	4	—	—	
第2財産区特別会計	6	1	5	5	—	—	

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業会計に係るもの）

(百万円)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債 現在高	他会計から の繰入金	備考
病院事業会計	1,398	1,457	△59	△752	75	120	法適用企業
水道事業会計	281	265	16	121	1,317	—	法適用企業
国民健康保険特別会計	(歳入) 2,233	(歳出) 2,081	(形式収支) 152	(実質収支) 142	—	185	基金から110百万円繰入
老人保健特別会計	(歳入) 1,480	(歳出) 1,454	(形式収支) 26	(実質収支) 4	—	137	
農業集落排水事業特別会計	(歳入) 405	(歳出) 391	(形式収支) 12	(実質収支) 7	2,384	75	基金から20百万円繰入
公共下水道事業特別会計	(歳入) 729	(歳出) 719	(形式収支) 28	(実質収支) 28	3,553	134	基金から11百万円繰入
介護保険特別会計 (保険事業)	(歳入) 1,284	(歳出) 1,279	(形式収支) 5	(実質収支) 2	33	202	
介護保険特別会計 (介護サービス事業)	(歳入) 20	(歳出) 20	(形式収支) 0	(実質収支) 0	231	20	

(注) 1.法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。

2.不良債務がある場合マイナス(△～)で表記し、流動資産が流動負債を上回る場合においてはその額をプラスで表記している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債 現在高	当該団体の 負担割合	備考
青森県市町村等非常勤職員 公務災害補償等組合	20	19	1	1	—	2.7	
青森県市町村税 滞納整理組合	42	41	1	1	—	4.4	
青森県市町村職員 退職手当組合	12,727	11,927	800	800	—	1.8	
青森県自治会館管理組合	60	56	4	4	—	—	
ふるさと交流圏民 センター事務組合	313	305	8	8	1,834	0.0	
西北五広域福祉事務組合	335	328	7	7	71	9.3	
西北五環境整備事務組合	1,304	1,240	64	53	1,217	8.7	
津軽広域水道企業団 (津軽事業部)	(総収益) 2,019	(総費用) 1,875	(純損益) 144	(不良債務) 2,970	9,165	—	法適用企業
青森県消防補償等組合	690	688	2	2	—	1.9	
五所川原地区消防事務組合	2,134	2,107	27	27	391	16.3	
青森県交通災害共済組合	231	202	29	29	—	—	
つがる西北五広域連合	183	172	11	11	—	9.9	
青森県後期高齢者 医療広域連合	18	16	2	2	—	1.1	

(注) 地方公営企業法を適用している公営企業に係るものの「不良債務」欄については、不良債務がある場合マイナス(△～)で表記し、流動資産が流動負債を上回る場合においてはその額をプラスで表記している。

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失保証に 係る債務残高	備考
株鶴の里振興公社	2	21	18	—	—	—	—	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

町の財政状況を見てみよう！

5 財政指数

(% (財政力指数、標準財政規模を除く))

財政力指数	0.257	標準財政規模	3,494 (百万円)	実質収支比率	1.7
実質公債費比率	19.2	経常収支比率	96.6	実質連結収支 (赤字) 比率	△11.1

(注) 1.実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度平成18年度の3か年平均である。

2.実質連結収支 (赤字) 比率については、公表日現在で計算方法が未確定であるため、暫定値である。

バランスシート (平成18年度)

平成19年3月31日現在

借 方		貸 方	
【資産の部】 将来にわたり公共サービスを提供することができる価値		【負債の部】 将来返済すべき債務	
1. 有形固定資産 (町民1人当たり)		1. 固定負債 (町民1人当たり)	
(1)総務費 21億136万8千円 (13万9千円)		(1)地方債 60億885万1千円 (39万7千円)	
(2)民生費 9億3,410万8千円 (6万2千円)		(2)債務負担行為	
(3)衛生費 1億9,584万円 (1万3千円)		①物件の購入等 0円 (0円)	
(4)労働費 1,716万4千円 (1千円)		②債務保証又は損失補償 0円 (0円)	
(5)農林水産業費 15億9,135万5千円 (10万5千円)		債務負担行為計 0円 (0円)	
(6)商工費 7億7,958万2千円 (5万1千円)		(3)退職給与引当金 12億1,110万6千円 (8万円)	
(7)土木費 39億9,518万円 (26万4千円)		固定負債合計 72億1,995万7千円 (47万7千円)	
(8)消防費 5,386万6千円 (4千円)			
(9)教育費 46億5,800万9千円 (30万7千円)		2. 流動負債	
(10)その他 0円 (0円)		(1)翌年度償還予定額 6億1,391万4千円 (4万1千円)	
計 143億2,647万2千円 (94万6千円)		(2)翌年度繰上充用金 0円 (0円)	
(うち土地 29億9,384万2千円 (19万8千円))		(3)その他 6,288万5千円 (4千円)	
有形固定資産合計 143億2,647万2千円 (94万6千円)		流動負債合計 6億7,679万9千円 (4万5千円)	
2. 投資等		負債合計 78億9,675万6千円 (52万1千円)	
(1)投資および出資金 4億376万8千円 (2万7千円)		【正味資産の部】 後世代に引き継ぐ公有財産の実質価値	
(2)貸付金 0円 (0円)		1.国庫支出金 16億5,287万8千円 (10万9千円)	
(3)基金		2.都道府県支出金 10億3,288万1千円 (6万8千円)	
①特定目的基金 1,210万6千円 (1千円)		3.一般財源等 45億8,495万5千円 (30万3千円)	
②土地開発基金 6,262万3千円 (4千円)		正味資産合計 72億7,071万4千円 (48万円)	
③定額運用基金 6,629万8千円 (4千円)			
基金計 1億4,102万7千円 (9千円)		負債合計 151億6,747万円 (100万1千円)	
(4)退職手当組合積立金 0円 (0円)			
投資等合計 5億4,479万5千円 (3万6千円)			
3. 流動資産			
(1)現金・預金			
①財政調整基金 1億2,699万4千円 (8千円)			
②減債基金 80万2千円 (0円)			
③歳計現金 5,971万3千円 (4千円)			
現金・預金計 1億8,750万9千円 (1万2千円)			
(2)未収金			
①地方税 9,937万9千円 (7千円)			
②その他 931万5千円 (1千円)			
未収金計 1億869万4千円 (7千円)			
流動資産合計 2億9,620万3千円 (2万円)			
資産合計 151億6,747万円 (100万1千円)			

※町民一人当たりの金額は：バランスシートの金額を作成基準日 (平成19年3月31日) の人口15,149人で割ったものです。

：千円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。